



2016年11月26日(土)  
茨城県奥久慈憩いの森 森林学習館にて



# 森の学校 開校！

木のソムリエ×許我みらい塾

# 地域ぐるみで子どもたちを育てる



「許我みらい塾」は、子どもたちが学校では教わらないこと、たとえば食育、住教育、防災、地域の歴史、リーダーシップ、伝統文化などを学ぶ場をつくる活動をしている団体です。様々な分野のプロジェクトである地域の大人たちが講師となっており、授業をおこなっています。

今回は、茨城県木の住まい支援協会会長で「木のソムリエ」である香取久雄氏が講師となり、「森の学校」が開校されました。

カリキュラムは森林の座学・丸太切り体験・プランター作り体験。「どれも子どもたちは興味しんしんで取り組んでくれました。のこぎりも金づちも、使い方を教えてあげれば、皆きちんと使えます」と香取氏。

今回は降雪により山の中での体験はできませんでしたが、今後、

山の散策（植林）や、疑似下草刈り・疑似間伐などの体験も企画されているそうです。

香取氏は「古河市の子どもたちに地元の木について学んでいただき、よりよい住まいや暮らしについても考えるきっかけになれば」と言います。



## 学びを次の世代へ

（許我みらい塾 事業趣旨より）

素晴らしい教育者や職人、指導者、経営者たちが市民の中には数多くいらっしゃいます。今までも、各学校でそういった方々をお呼びして指導をいただく機会も多かつ

たと思います。我々の目的は、上記に挙げた方々が共に手を取り合い、子どもたちの「大人になるとは？ 日本人とは？ 働くとは？」などの単純でもっとも大きな疑問に答えていける『民間学校』を運営していくことにあります。この企画は、もちろん子どもたちの為であります。同時に未来の社会

への投資でもあります。より立派な社会人。より賢い納税者。素晴らしい日本人として世界に飛び立つ人財の卵を生み出そうという発想です。たくさんの方が、未来のための教育に力を合わせる活動、行動こそが世の中を変えていく原動力になります。

この事業は我々だけが続けていく事業ではありません。我々が素晴らしい人財を送りだし、ここで教えを乞うた人財がそれを引き、次の世代へ橋渡しをしなければいけません。そして、いつかはこの学校が不要となることを願い活動していかねばならないと思います。可能性を大いに秘めた人財をたくさん育てる為に、『学舎 許我みらい塾』は活動します。



茨城県木の住まい支援協会 会長  
香取木材 代表  
かとり ひさお  
香取 久雄氏  
〒306-0113  
茨城県古河市谷貝 306  
TEL 0280-23-1220  
FAX 0280-78-1659  
http://www.kinosumai-ibaraki.org